

(4)サイクリング

実施形態	指導必須 ※活動の事前指導に入る。		阿蘇の自然に 親しむ	集団行動 規律	課題克服 達成感	詳しくはこちらで 
提出書類	活動確認用紙		◎	◎	◎	
事前の下見	必須 (道路の状況を把握しておく)		阿蘇の文化に 親しむ	仲間づくり 協調性	自主性 創意・工夫	
必要経費	なし		◎	◎		
概要 (セールスポイント)	マウンテンバイクや自転車に乗って神話コース(約23km)、水基コース(8km)を回るダイナミックな活動プログラムです。急なのぼり坂、くだり坂もあるので、ゴールした達成感を味わうこともできます。 事前下見 をして、 道路の状況を知っておくこと 。 交通事故 に注意すること。					
諸条件	場所	阿蘇市内 阿蘇市郊外		対象	学校団体、自然体験活動団体、企業や子ども会などの団体 小学校中学年以上	
	所用時間	阿蘇の神話コース(23km) 全日 水基コース(8km) 半日		人数	40人程度まで	
	時期	通年		天候	大雨・雷雨時は中止	
準備するもの	青少年交流の家で貸し出し可能な物			団体に準備する物		
	自転車	18インチ~26インチ マウンテンバイク 45台 26インチ自転車 20台		救急用品 笛 等	活動前に代表者が 安全指導 を職員から受け、 安全指導の徹底を図ること 。	
ヘルメット サイクリングマップ 無線機 等						
活動内容 (手順)	所用時間	項目	内容			備考
	30分	準備・事前指導 安全指導	<団体もしくは交流の家職員> 自転車・ヘルメット貸し出し、点検・調整 サイクリングの注意、試走			
	阿蘇の神話 コース (23km) 全日 水基コース (8km) 半日	活動	<団体> ①自転車は、体に合わせて調整しよう。 ②交通ルールは、必ず守ろう。 ③ヘルメットは、必ず着用しよう。 ④後方にも注意をはらい、急な進路変更はしないようにしよう。 ⑤車間距離を十分にとろう。 ⑥道路での競争はやめよう。 ⑦疲れないうちに休憩をとろう。 ⑧荷物はリュックに入れ、常に両手を使えるようにしよう。 ⑨雨天や下り坂等での急ブレーキはやめよう。 ⑩協力しながら、楽しい活動にしよう。			引率者が最低2名必要です。 隊列の先頭と最後尾に車両を配置しましょう。 小グループに指導者がつき、グループ単位で動くときスムーズに流れます。
	30分	後片付け	<団体> 帰着人員の確認及び健康観察 借用物品のメンテナンスと返却			

阿蘇の神話コース サイクリングMAP

※赤い線の道路をたどってください。

健甞龍命(タケイワツノミコト)が阿蘇の湖の立野をけり崩した。そのとき湖に住んでいた全長15kmの大なますが流れ口にひっかかる。その時なますの尻尾が国造神社付近まで達していた。そのなますが祭られているのが、ここ国造神社である。
 国造神社は、手野の大杉があり、豊かできれいな水で育ったからこそこれほど大きく育ったといえるであろう。今でも湧き水が湧き、地域は勿論、遠くは県外から水を求めてやってくる人々も多い。

交流の家
9:30発

(7 km)

霜宮神社
10:00~

(7 km)

国造神社
11:10~

(5 km)

阿蘇神社
13:00~

(4 km)

交流の家
15:00

先導 ()

第1グループ
8名程度 班 ()

第2グループ
8名程度 班 ()

第3グループ
8名程度 班 ()

第4グループ
8名程度 班 ()

第5グループ
8名程度 班 ()

後尾 ()

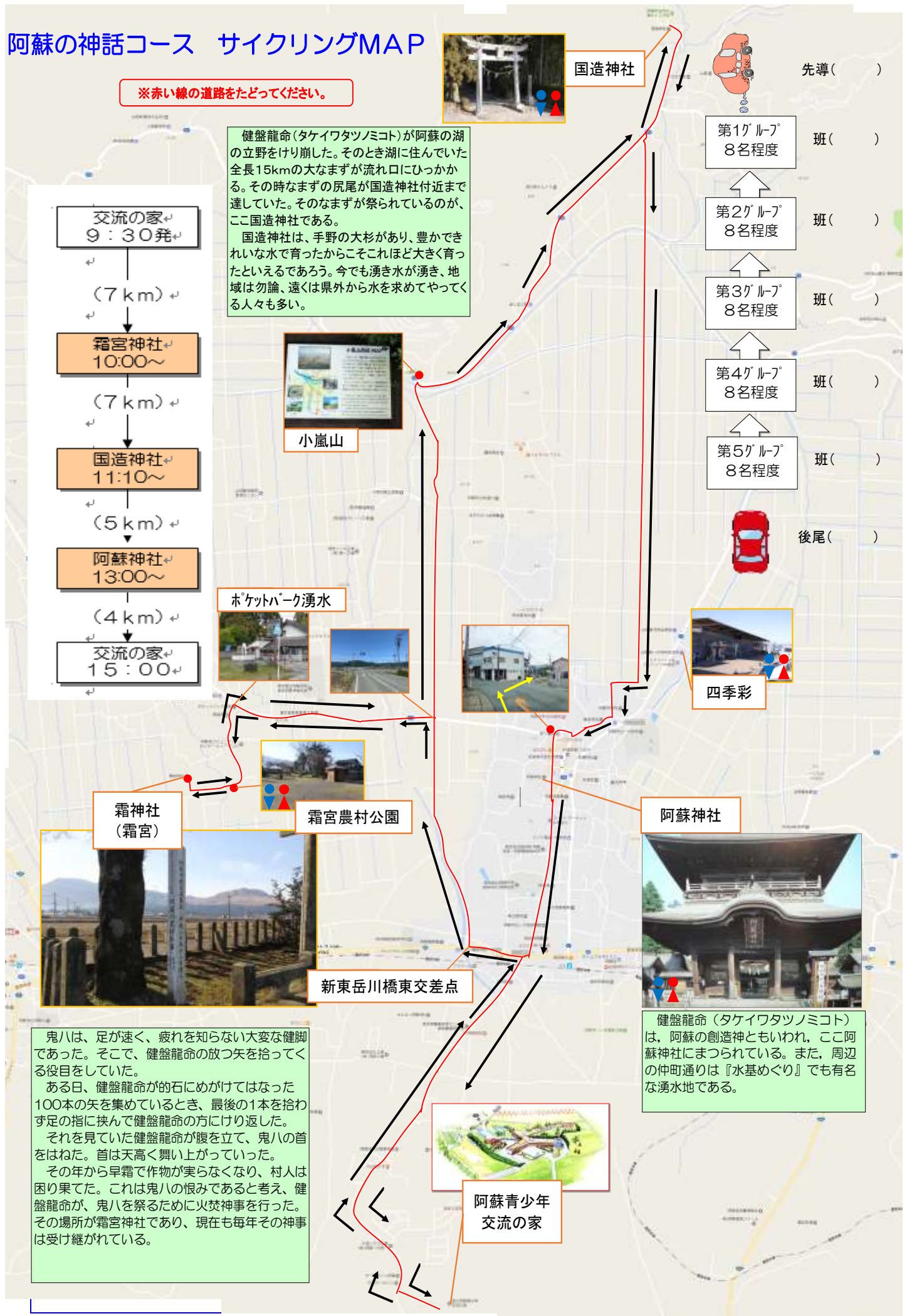


鬼八は、足が速く、疲れを知らない大変な健脚であった。そこで、健甞龍命の放つ矢を拾ってくる役目をしていた。
 ある日、健甞龍命が的にめがけてはなった100本の矢を集めているとき、最後の1本を拾わず足の指に挟んで健甞龍命の方にけり返した。
 それを見ていた健甞龍命が腹を立て、鬼八の首をはねた。首は天高く舞い上がっていった。
 その年から早霜で作物が実らなくなり、村人は困り果てた。これは鬼八の恨みであると考え、健甞龍命が、鬼八を祭るために火焚神事を行った。その場所が霜宮神社であり、現在も毎年その神事は受け継がれている。

健甞龍命(タケイワツノミコト)は、阿蘇の創造神ともいわれ、ここ阿蘇神社にまつられている。また、周辺の仲町通りは『水基めぐり』でも有名な湧水地である。



新東岳川橋東交差点



阿蘇の水基コース サイクリングMAP

